

整備事業の段階的効果 第1段階（平成19年度工事完了時）

■ 菱沼雨水幹線の護岸嵩上げ+フラップゲート設置（外水対策:雨水幹線の溢水・逆流対策）

平成12年9月の実績降雨による浸水シミュレーションの結果では、菱沼雨水幹線の溢水を防ぎ雨水が下水道管へ逆流することを防止する外水対策として「護岸の嵩上げとフラップゲート設置」を行うことにより、浸水被害の軽減が可能となります。

■ 護岸嵩上げ・フラップゲート設置前（現況）



上ノ田雨水調整池

■ 護岸嵩上げ・フラップゲート設置後の浸水想定図



上ノ田雨水調整池

整備事業の段階的効果 第2段階（平成20年度工事完了時）

■ 調整池の設置（内水対策:下水道管の排水ができずに浸水する雨水対策）

内水対策として「調整池を設置」し、浸水した雨水を調整池に導くことにより、宅地内浸水戸数を最小限に抑え、道路最大浸水水位15cm以下まで浸水被害を軽減することが可能となります。

避難する人や小型車の通行を確保

■ 護岸嵩上げ・フラップゲート設置後



上ノ田雨水調整池

■ 護岸嵩上げ・フラップゲート設置 + 調整池設置後の浸水想定図



上ノ田雨水調整池